

南会津地域感染症通信 7月号

調査対象期間：2019年第25週～2019年第28週（6/17～7/14）

令和元年7月
福島県南会津保健所
電話 0241-63-0306



曇りや雨の日が多く、日照不足や冷夏による農作物への影響が心配されていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

野菜価格の高騰も懸念されていますが、旬の食材を積極的に摂り、元気に夏を乗り切りましょう。

＜感染症流行状況＞ ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

流行状況	疾患	発生状況等
流行	手足口病	県内全域で流行しています。 乳幼児を中心に流行する病気ですので、保育施設などの乳幼児が集団生活をしている場では、感染拡大防止のため、職員と子どもたちがしっかりと手洗いをするのが大切です。

手足口病に注意しましょう！

＜予防策＞

- ①手洗いは流水と石けんで十分に行う
- ②タオルの共用はしない
- ③おむつ交換等の際には、排泄物を適切に処理し、処理後の手洗いをしっかり行う



※手足口病は症状がなくなっても比較的長い間、便の中にウイルスが排泄されるため、手洗いの励行が大切です。

＜今月のトピックス＞ 夏に流行する感染症 Part 2 ～ヘルパンギーナ～

◎ヘルパンギーナとは？

「コクサッキーウイルス」が原因ですが、複数のウイルスがあるため何度もかかる可能性もあります。5歳以下の乳幼児を中心に流行します。

◎どんな症状がでるの？

- ・潜伏期間は2～4日
- ・38～40℃の高熱（1～3日続く）、のどの痛み、口の中に小さな水疱ができる
- ・ウイルスの便への排出は、回復後も2～4週と長期にわたることがある

◎かからないためには？

ヘルパンギーナは、くしゃみなどに含まれる飛沫によって感染する「飛沫感染」と唾液や鼻水がついたおもちゃの貸し借りなど、手が触れることで感染する「接触感染」が主な感染経路です。

手洗いの励行がとても大切で、特に排便後の手洗いを徹底しましょう。また、感染拡大防止のためには、おむつ交換後の手洗いも大切です。



＜お知らせ＞

＜肝臓週間～7月28日は肝炎デーです～＞

○肝炎とは…

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染し、肝臓の細胞が壊れていく病気です。

肝臓は“沈黙の臓器”といわれ、自覚症状のない場合がほとんどです。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは検査で知ることができ、保健所や指定医療機関で受けることができます。お気軽に御相談ください。

◇ 日時 毎週火曜日 9:00～10:30
第一・第三月曜日 17:15～20:00

◇ 場所 南会津保健福祉事務所

◇ 費用 無料

予約制となりますので、事前にお電話ください。

電話 0241-63-0306



＜夏休みに海外渡航される方へ～感染症に対する正しい知識と予防方法について～＞

海外では、日本にはない感染症がたくさんあり、また、動物や蚊・マダニなどが媒介する感染症が流行していることがあります。

渡航先や渡航先での行動によっても異なりますが、食べ物や水を介した消化器系の感染症に感染する可能性もあります。

出発前に厚生労働省のホームページで渡航先の情報を確認しましょう。

■厚生労働省ホームページ

<https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>